

---

FOR TEEN

相葉広果

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

F O R T E E N

### 【コード】

N O 6 8 9 C

### 【作者名】

相葉広果

### 【あらすじ】

詩です。作者の14歳の頃を脚色しながら書きました（笑）青臭いなー、くらいに受け取っていただければ幸いです。

もう一度戻れるなら 君を知ったあの十月の日  
あそこから始まってしまったのなら  
無理矢理塞いだ傷口がもう開かないように  
知らない振りして通り過ぎるよ  
それが君にとつての幸せならば

まだ思い出してしまうあの日の思い出が  
いつか笑い話になって  
君とまた話せるようになるのかな

僕が愛したあの笑顔  
次に向けられる子に どうかよろしく

もうどうでもいいと吐き捨てた僕の必死な強がり  
流した涙のせいで弱さの証明になってしまっ  
ねえ 君は知っているでしょう？  
ねえ 君しか知らないでしょう？  
後にも先にも ただ君だけを求めていた

刹那に散る想いはきつと勘違いなんかじゃない  
あの日々の中で確かに君と呼吸をして  
確かに君を愛していた これ以上ないほどに  
幼いなりにお互いを求めて走り続けた14歳

最後の手紙はまだ微かに残る君の匂い  
消し去ろうとすればするほどあの日の残像が浮かぶ  
ねえ 覚えてる？

君が始めて名前を呼んでくれたあの日  
未だに使い古した手帳に残っている

「どれだけ遠回りをして君を好きになったよ  
だからお願い 離さないで ひとりにしないで」

君は知ってるのに

「あと一年経って僕らがもう少し大人になったら  
いっぱい電話するよ だから安心して  
心変わり等絶対しないから」

うそつき

もう隣に君はいないでしょう

もう当たり前だったはずの挨拶すらままならないけど  
気楽に話すことも 目を合わせることもすら 赦されないけど  
それでもまだ好きだと  
ねえ そのままでもいいですか

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0689c/>

---

FOR TEEN

2010年10月11日12時11分発行